

2009年2月4日

## 防災ガラスを神奈川県「小田原市立下府中小学校」に寄贈 ～地球と子どもの明日を考えるくガラスパワーキャンペーン～

**AGC**旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、くガラスパワーキャンペーンでの地域防災への協力活動の一環として、神奈川県の小田原市立下府中小学校に防災ガラス（\*1）を寄贈することを決定し、本日小田原市長加藤憲一様、下府中小学校長の山口実様のご出席のもと小田原市役所にて贈呈式を行いました。寄贈場所は指定避難場所である同校の体育館で、ガラス全て（計約240㎡）をAGCの防災ガラス「スクールセーファー」に交換しました。寄贈は2008年11月に防災ガラスの寄贈先を決定するインターネット投票の結果で同校が2位になったことによります。

近年、地震や台風などの自然災害が多発し、割れたガラスによるケガや避難場所のガラスが割れて避難ができないなどの被害が発生しています。当社は2005年10月より、割れにくく、また割れても破片が飛び散りにくい防災機能を持った「合わせガラス」の普及及び認知向上を目的とした防災ガラス寄贈活動を展開しています。なお、本年1月13日に開催されました「国連国際防災戦力事務局発行『民間企業による防災優良事例集 2008』に関する記者会見」にて、地域防災強化・指定避難所の機能確保という観点からくガラスパワーキャンペーンの取組が紹介されました。

2008年は新たな寄贈プロジェクトとして、全国から防災ガラス寄贈先候補を公募し、寄贈先候補10件の中からキャンペーン会員によるインターネット投票を通して最終決定された指定避難所（年間5件）に防災ガラスを寄贈しています。小田原市立下府中小学校はインターネット投票による寄贈先第3号で、くガラスパワーキャンペーン通算で国内18校目となります。

当社は、善き企業市民として、くガラスパワーキャンペーンを初めとする取組を通じ、安心で安全な社会づくりに貢献していきます。

（\*1）防災ガラス…2枚の板ガラスの間に強靱で柔軟な特殊フィルムをはさみ接着した安全ガラス。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC**旭硝子（株）広報・IR室長 上田 敏裕

（担当：貞包 TEL：03-3218-5408 E-mail：[info-pr@agc.co.jp](mailto:info-pr@agc.co.jp)）

◎ガラスパワーキャンペーン 事務局

（TEL：03-6238-4547 E-mail：[glasspower@agc.co.jp](mailto:glasspower@agc.co.jp)）

